

## 第四回 高田馬場駅周辺地区交通バリアフリー推進部会

### 議 事 要 旨

#### 議事内容

##### 1. 議事次第

- 1) 平成 19 年度特定事業計画の進捗状況について

##### 2. 主な議事内容

#### 公共交通特定事業について

- ・ サービス介助士資格取得の対象者や実施人数、接遇のための研修の対象や内容等について質問があり、事業者より説明があった。
- ・ 以下の要望があった。
  - 1) 車いすスペース設置車両のホームへの位置表示
  - 2) 新型車両について最低 8 箇所の車いすスペース確保（できるならば全車両）
  - 3) 簡易オストメイト付きの多機能トイレのフルスペック化
  - 4) バスの車外音声案内の徹底

#### 道路特定事業、交通安全特定事業について

- ・ バス停部の歩道のマウンアップ高さ（基準：15cm）について再確認があった。
- ・ 視覚障害者誘導用ブロックは、今後 JIS 規格で統一整備を進めていく。
- ・ 当地区の視覚障害者の音声誘導チャイムは、視覚障害者の施設が集中する特殊なエリアなので整備を更に進めて欲しいとの要望があった。
- ・ 歩道の勾配改善については、地形上の制約がある。
- ・ バリアフリー化した路線にその旨を示し、PR・情報発信することで、利用者の愛着や放置自転車の減少等の効果が期待できるのではないかと提案があった。

#### 今後の課題について

- ・ 今後の課題については、今後も区と事業者間で検討を進めていくものとする。
- ・ 事業計画の新法対応について、今後、部会および委員会を通じ、また、事業者間と連携をとり、検討を進めて行くことが良い。

#### その他

- ・ 以上の質問や意見は、推進委員会へ上げていくものとする。